

項番	第2回部会事前意見
2	<p>○大衆向けの利便性向上に向けた基盤整備も必要であるが、その道路、地域に住む県民の利便性の向上も考えなければならない。幹線の発達は素晴らしいが、農業者、町を歩く高齢者、子どもなどの目線に立ち、道路を作るだけでなく、歩道や横断歩道等を含めどのような道路作りをしていくのか。安全、安心な整備、防犯・事故を想定したなかでの整備を望む。</p> <p>○甲府市内では、慢性的な渋滞が平休日発生している。中心地の活性化を目指すのであれば、渋滞を解消しなければ発展的な成長は見込めないのではないか。甲府地内にバスターミナル等を設け、デマンドバスを含め交通弱者のための政策を含め、渋滞解消に向けた公共交通の整備が必要ではないか。</p> <p>○各委員からの意見や要望を踏まえ、長崎知事が目指す今後の県政の方向性を示す「山梨県総合計画」の素案となっていると感じる。今後の課題としては、この計画をどのように市町村行政、県民、地域に落としこんでいくかが大切である。本計画は作って終了するものではなく、どのように実行していくかが大変重要であり、素案を基盤とし、地域と密着した中での事業展開となることを望む。</p> <p>○本計画に掲げられる「豊かさ」とは何なのか。金銭的な豊かさなのか、食なのか、文化的なものか。県として明確に掲げた中で「豊かな社会」となるよう本計画の策定・実施と進むことを望む。</p>
7	<p>○戦略5政策3の施策「移住者等のコミュニティ定着に向けた支援」については、移住者「等」となっているので、含まれるかと思うが、移住前から移住後の具体的な生活イメージが湧きやすいような包括的支援を望む。</p> <p>○戦略4政策2の施策「児童虐待防止策の強化」を記載について、児童虐待は、いつでもどこでも誰でも起こりうる可能性を秘めている上、当事者はなかなかSOSを発せられないので、出産前から複数の機関がある事と、妊婦世帯と子育て世代がつながる場所が身近にある環境を作って頂き、困る前からの繋がる関係の強化をさらに進めて頂きたい。</p> <p>○答申意見案の30歳とか40歳～という内容は、戦略3政策2に関する参考意見になっているが、戦略2のくくりの中に「パパママ体験」「健全な身体作り」等で教育の中に入れる事は可能か。</p> <p>○戦略5政策2 災害に強い強靱な県土づくり（P78）について、いざという時には、瞬時に判断し行動に移すことが生きのびるためにとっても大切になると思う。そのためには、どこにいても瞬時に的確に避難できる災害種別避難誘防災意識も高まり、防災が特別な事ではなく、日常生活に少しでもとけこむ事を期待している。</p>
9	<p>○山梨県の5G及びその先のネットワーク環境整備の計画、もしくは方向性について伺いたい。前回、意見としてテレワーク環境の整備を提案させていただいたが、その実現のためには、直近では5G環境の整備が必須のインフラとなる。ネットワークインフラの整備は、テレワーク整備だけでなく、遠隔地医療の実践などに役立ち、地域の発展に大きく貢献し、加えて、教育計画に掲げられているICT教育の充実などに資すると思われる。</p>

項番	第2回部会事前意見
	<p>○災害対策について</p> <p>先月の台風15号では千葉南部の被害は甚大で、特に停電の範囲と期間は想定以上であった中、山梨の災害の少なさは相対的に評価される状況にあるものと認識している。今後は、具体的な統計データを示しつつ、地震や台風の被害の少なさ、安全性をアピールすることにより県外からの移住者の促進や、20歳代の若手世代のUターンを推進する材料になるのではないかと期待している。</p>
12	<p>○通学路への防犯カメラ設置などのハード面を強化する支援は戦略4とも関係していると思うが、ぜひ実施してほしい。</p> <p>○多様な人や団体が暮らしやすい地域づくりの推進に勤めてほしい。</p> <p>○災害時における生活弱者の対応をスピーディーにしてほしい</p>
17	<p>○山梨県の公共交通は、既存のバス・タクシー会社が、県民でもある利用者の安全を第一に運行している。新たな会社や個人の方が、既存事業者と同様な安全を担保することが出来るか否か判定され、安易に運行することが無いよう取り組んでほしい。</p> <p>○令和4年に自家用有償旅客運送実施箇所を23箇所と記載があったが、バス協会・事業者は聞き及んでいなかった。自家用有償旅客運送であっても地域交通会議等にて、安全な輸送に関する取組みも含めて、よく議論して地域公共交通を確保する対策を講じてほしい。</p> <p>○県で「新たな交通サービスの導入に向けた手引書」の発行であったり、自家用有償旅客運送（無償輸送も）に関する初期経費とした補助制度を導入しているが、関係者で様々な検討を重ねていただいた結果として、補助制度を活用されるなどしてほしい。</p>

項番	第2回部会事前意見
18	<p>○「一人一役県民運動」～で始まる意見案の一行目の最後を、誠心→精神に訂正してほしい。</p> <p>○子連れ家庭に～で始まる意見案の三行目について、「外から来た方にも～できればいいと思う。」の一文を削除してほしい。</p> <p>○「全県民あいさつリーダー宣言運動」で始まる意見案の三行目の最後に「また、移住者にも優しい県づくりにもつながる。」を追加してほしい。</p> <p>○県外に出てしまう人を～で始まる意見案の二行目から四行目の「またはサテライトオフィスとかそういう形で～必要があると思う」を、「または山梨へのサテライトオフィス設置やテレワーク環境の構築を通じた山梨勤務を促す。」に修正してほしい。</p> <p>○「2040年の山梨県の将来像」、さらに「将来展望Ⅱに至るシナリオと人々のすがた」を読み進めるだけでも一県民としてワクワクしてくる。将来を担う子供たちにも希望を持たせてあげたい。「県民一人ひとり豊かさを実感できるやまなし」を実現化するために、県民が山梨に愛着を抱き、自ら山梨のために貢献しようとする大きなうねりを起こしたいものである。多くの施策がありますが、同一の目標に対して、各部局が様々な角度から捉えながら部局間の垣根を越えて協働で取り組んで頂きたい。</p>
19	<p>○「素案」と「素案の参考資料」によって明細、明解に説明してあり実行段階の指針となる。</p> <p>○「素案」のP82～87において、計画の推進が数値目標も設定されて自信と力強さを感じた。その中で国が「地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム」を発足している。現在山梨県は338団体の一号会員（令和元年6月現在）に入っているが「SDGs 未来都市選定都市」への対応についてうかがいたい。</p>
21	<p>○素案では、2種類の人口展望を示し、総合計画を実施することで人口展望Ⅱを実現していくとの方向性に具体的なイメージが加わり説得力が増したと思う。</p> <p>○素案では、5つの戦略に対応した政策を2～9を整理して示しているので、政策とその具体的な施策との関連性がより具体的に理解できるようになっている。</p> <p>○前回提示された施策70から166に増えており、計画の充実度が高まった印象がある。</p> <p>○総合計画に必要な基本理念、本県の将来像、アクションプランは示された。言わば計画のソフト（中味）は示されているが、計画の裏づけとなる資金面での説明が必要である。県予算の経常経費（一般支出）と計画に必要な投資的経費は、どの程度を見ているのか、またその予算規模は前回計画に比べてどうなのか比較した説明が必要と思う。</p>